



しげくに
重国たけしの
まちづくりニュース

★主役は市民★



しげくにたけし日本
共産党狛江市環境
まちづくり推進室長
sigeny@nifty.com
090-1775-9052
「民報こまえ」
発行：日本共産党
狛江市委員会
岩戸北1-10-6甲武
ビル1階

図書館住民投票請求署名 4264筆 次は議会が焦点

「おとなの本と子どもの本、バラバラにする図書館改修計画でいいのかどうか、住民投票で直接市民に意見を聞いてほしい」と呼び

かけられた、図書館のあり方についての住民投票を求める請求署名が、必要数の3倍、**4264筆**(確定有効署名数は4060筆)に

大きく広がりました(読売新聞、東京新聞が報道)。署名を集める受任者は265人に達しました。

日本共産党もこの市民運動に協力し、重国たけしも事務局メンバーとして取り組みました。ご協力

いただいたみなさん、ありがとうございます。署名の機会がなかつたというみなさん、ごめんなさい。

条例採決は5月15日末の臨時議会

今後は、住民投票条



スターチス(後援会員の絵手紙)

3月25日、狛江市の2024年度予算が成立しました。

日本共産党は、**学校給食費無料化**などを歓迎しつつ、図書館改修関連予算の凍結など、問題点の是正を求める予算組替えを提案しました(賛成少数で否決)。



例案を審議する臨時議会が4月26日に開催され、討論・採決は5月15日になるとされています。
市長は「市民は図書館分割に好意的」と答弁
松原市長は3月13日の市議会で、「(図書館分割は)多くの市民に好意的に受け止めていただいている」と答弁しました。ならば、住民投票で直接市民に聞くことに、なんら問題はな

3月9日、狛江駅北口の噴水前で署名を呼びかけるしげくにたけし。期間中には、朝晩の喜多見・和泉多摩川駅や、市役所・いなげや前などでも取り組み、ハイタウンなどのお宅も訪問して、多くのみなさんにご協力いただきました。

◆市民要望拡充の組替え◆

- ・PFAS検査実施(600万円)
- ・ひとり親家庭家賃補助(800万円)
- ・インフルエンザワクチン助成(665万円)
- ・生活保護世帯への夏季見舞金(1306万円)など
- ・災害対策強化(1400万円):感震ブレイカー、マンホールトイレ、防災ラジオ、家具転倒防止器具等への購入補助

◆問題点だたず組替え◆

- ・国保税値上げ中止(3800万円)
- ・介護保険料値上げ中止(6500万円)
- ・市民センター改修工事・図書館改修実施設計を一旦中止し、住民投票結果にもとづいて進める(-3億1380万円、-8493万円)

共産党市議団の 予算組替え提案

重国たけしの議会傍聴記

議会でも様々な意見

3月25日の市議会でも、図書館・市民センター改修に関して、各議員から様々な意見が出されました。

共産党は予算組替え提案で、図書館・公民館改修を住民投票結果に基づいてすすめるため、予算から一旦削除することを提案。各議員から意見が出されました。

【共産党の提案理由】

4200名もの多くの市民が住民投票を求めている。住民投票の結果によって市民の意見が明らかになるのを待つべき。

図書館・公民館の改修事業については、市の「参加と



署名簿を選挙管理委員会に提出する住民投票の会のみなさん(3月13日)

議員は住民投票条例の制定を!

図書館はバラバラでいい? みんなの声を聞いて!

住民投票を求める署名 必要数の3倍 4200筆超す

「住民投票」は市民の声を届ける機会

こまえ図書館住民投票の会

協働に関する条例」に則った手続きがなされていくことも指摘されており、市民の合意が得られているとはいえない。

【組替えに賛成の意見】

○市民参加の機会を保障すべき。社会教育施設を大切にする姿勢が見えない。

【組替えに反対の意見】

○市民参加・住民投票は代議制民主主義を補完するもの(にすぎない)。市民の代表である議員が市民の意見を託された代表者として決める必要がある。

○市民センターは老朽化が進んでいる。早く改修を。

○一部の市民が反対している。面積の小さな狛江に大きな図書館は必要ない。
○現計画は、当初より予算が増えており、市民参加の成果と受け止めている。

《私の感想》

★図書館の分割が必要とする説得力のある意見は聞かれませんでした。

★住民投票請求を「市の方針への反対運動」と決めつけたような発言がありました。たが事実と異なります。市民意見に沿った図書館を求めているのであって、市の計画に賛成の人も住民投票

実施を求める署名をされています。

★市政の主役は市民です。その声を直接聞く直接民主主義手法(住民投票)を「補完するもの」としながら、これを軽視するような発言は理解しがたいものです。

★施設の老朽化対策が急がれることは共通の認識です。住民投票の会もその立場から改修計画の白紙撤回でなく、現地拡充・改修を選択肢とした住民投票を提案しています。「若者スペースの充実」も同様に共通の願いです。これらは図書館分割の理由にはなりません。

嬉しい知らせ「給食費無料化」

給食費無料化のニュースを聞いて、地域のお母さんお父さんたち、そして私たち後援会の人たちの運動の成果であると嬉しく思うと同時に達成感を感じました。



小中学生を持つ娘たちも、「ヤッター!!署名をしたり「まちづくりニュース」に資料を提供したことが報われたね。共産党のおかげだね。家計の助けになる。」と喜んでいました。この嬉しい知らせに、前向きになれる春を迎えられそうです。(R)

「意見やご要望などお寄せください。暮らしのお困りごとなどもお気軽に。連絡先」重国たけし 090-1775-9052 sigeny@nifty.com

「住民投票の会」の取組にご協力ください。

- 5月15日9時の臨時議会を傍聴してください。
- 住民投票条例制定を求める議員要請はがき運動にご参加ください。
- 駅前での宣伝やシール投票にご協力ください。

★4200筆の市民の署名を重く受け止めてほしいと思います。問われているのは、市の計画への賛否ではなく、市民の意思表明の機会を認めるのか、これを不要なものとして認めないのか、という民主主義の問題ではないでしょうか。
日本共産党は、住民投票は市民が主役の狛江市政を発展させるものと考えており、実施を強く求めます。